

## 平成19年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市文化会館
所在地	四日市市安島2丁目5-3
指定管理者	名称 財団法人 四日市市文化振興財団 代表者 理事長 山本 雅昭 住所 四日市市安島2丁目5-3
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部室 (問合せ先)	市民文化部 文化国際課 TEL：059-354-8239 E-mail：bunkakokusai@city.yokkaichi.mie.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

文化会館の管理運営状況については、施設の目的を十分達成し、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。施設使用申込方法についても、利用者の意見を踏まえながら、公平性を期すために月初日の抽選方法に変更し、サービス向上につとめました。利用者数・自主事業参加者数も当初見込みより増加し、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

また、蓄積した事業ノウハウを市民に伝授する「お客様相談窓口」の開設や、駐車場対策、またホームページ上での施設の空き状況の公開など、サービス向上につとめました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

自主事業については、平成17年3月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、より内容の充実にも努めました。18年度に引き続き、次代を担う人材の育成に力を入れ、学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実にも努めました。また学芸員による文化セミナーを実施したり、四日市文芸賞作品を作品集として出版するなど、新たな事業を試みました。鑑賞型事業では想定以上の多くの入場者があり、次代を担う子どもを対象とした事業やセミナーなど、全体的にバランスのとれた事業展開ができ、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができたといえます。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

市民のための文化会館であることを第一に、利用しやすく、安全で安心な施設であるとともに、文化に親しんでいただける憩いの場となるよう更に工夫する必要があります。

施設・備品の管理状態も良好で、接客等の対応も利用者アンケートからも満足のものと思われます。自主事業も目標をもって行っており、耐震工事による閉館期間があつたにもかかわらず、積極的な事業展開により、事業数も計画より多く実施し、内容も充実していたと思われます。

全体的にみて、施設の利用率も高く、利用者の満足度も高いですが、サービス対象を現時点での利用者だけにとどまらず、もっとさまざまな需要を緻密に拾って、柔軟かつ迅速に対応できる体制づくりを検討する必要があります。

また、新たに設けた「お客様相談窓口」についても、あまり周知されておらず、「文化をつなぐパートナー」としてより充実したサービスを提供するためにも、もっとPRし、気軽に相談できる雰囲気づくりも必要です。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。施設使用申込方法についても、利用者の意見を踏まえながら、公平性を期すために月初日の抽選方法に変更し、サービス向上につとめました。利用者数・自主事業参加者数も当初見込みより増加し、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

平成17年3月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、より内容の充実に努めた。18年度に引き続き、次代を担う人材の育成に力を入れ、学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実に努めた。また学芸員による文化セミナーを実施したり、四日市文芸賞作品を作品集として出版するなど、新たな事業を試みることができた。鑑賞型事業では想定以上の多くの入場者があり、次代を担う子どもを対象とした事業やセミナーなど、全体的にバランスのとれた事業展開ができ、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができたといえます。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

入場料等の収入や、需用費や委託料等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施されていました。個人情報保護についても日頃から職員研修を行い、犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険の加入もされていました。

盗難事件が多発していましたが、出入口及び楽屋内への啓発ポスターの掲出、主催者への口頭注意喚起、楽屋及びロッカーの鍵の貸出し、警備員の警戒及び巡回など対策を実施し、被害もなくなりました。今後も引き続き実施していく必要があります。

### 社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

## 事業収支

### 経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について「事業報告書及び決算報告書」を分析した結果、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成19年度

施設名	四日市市文化会館		所管課:市民文化部 文化国際課
所在地	四日市市安島2丁目5-3		設置年月: 昭和57年8月1日
設置目的	市民の文化、教育、福祉等の増進に資するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市文化会館の設置及び管理に関する条例		
施設の概要		敷地面積 (㎡)	20,681㎡
		延床面積 (㎡)	13,863㎡
	設備の概要	第1ホール 収容人数 1,816人 第2ホール 収容人数 609人 第3ホール 収容人数 300人 第4ホール 収容人数 400人 展示室 第1展示室・第3展示室・第4展示室・常設展示室 会議室 第1会議室・第2会議室・第3会議室・和会議室 練習室 第1練習室・第2練習室・第3練習室 リハーサル室 第1リハーサル室・第2リハーサル室 駐車場 約400台	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動のための施設の提供に関する事</li> <li>・文化活動に関する情報の提供に関する事</li> <li>・文化事業の企画及び実施に関する事</li> <li>・その他会館の設置目的を達成するために必要な事業に関する事</li> </ul>	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	313日	313日
開館時間	9時～22時	9時～22時
受付時間	9時～18時	9時～18時
自主事業開催	49件	73件

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
自主事業参加者数		16,000人	20,794人
施設別 利用件数	第1ホール	/	116人
	第2ホール		193人
	第3ホール		274人
	第4ホール		417人
	第1会議室		246人
	第2会議室		614人
	第3会議室		531人
	和会議室		628人
	第1リハーサル室		317人
	第2リハーサル室		596人
	第1練習室		405人
	第2練習室		399人
	第3練習室		353人
	第1展示室		94人
	第3展示室		91人
	第4展示室		101人
合計			5,375人
施設別 来館者数	第1ホール	/	123,471人
	第2ホール		79,857人
	第3ホール		31,747人
	第4ホール		21,436人
	第1会議室		3,947人
	第2会議室		12,375人
	第3会議室		9,750人
	和会議室		6,730人
	第1リハーサル室		10,673人
	第2リハーサル室		15,750人
	第1練習室		7,382人
	第2練習室		5,167人
	第3練習室		4,899人
	第1展示室		40,445人
	第3展示室		20,155人
	第4展示室		10,628人
合計		400,000人	404,412人

## 4. 事業収支

(単位：円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
事業収入	管理料収入	316,140,000	316,140,000
	事業受託収入	3,800,000	3,800,000
	入場料等収入	67,557,000	71,782,988
	広告収入	6,146,000	3,882,000
	刊行物販売収入	510,000	494,870
	食堂使用料等収入	7,627,000	6,966,451
補助金収入		1,800,000	1,800,000
雑収入	受取利息	90,000	120,522
	雑収入	53,000	904,241
基本財産運用収入	基本財産利息収入	60,000	80,282
特定資産運用収入	特定資産利息収入	540,000	771,236
財務活動収入	退職手当引当金収入	14,000,000	17,511,099
収入合計		418,323,000	424,253,689

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
管 理 費	報酬	1,014,000	759,290
	給料	41,789,000	40,952,700
	手当	29,614,000	32,781,393
	退職手当引当	14,000,000	17,511,099
	福利厚生費	17,218,000	16,790,910
	嘱託員報償金	3,111,000	3,214,166
	臨時雇賃金	10,155,000	8,577,381
	会議費	587,000	432,748
	旅費交通費	373,000	205,255
	交際費	33,000	26,170
	通信運搬費	2,523,000	1,872,637
	消耗什器備品費	81,000	36,800
	消耗品費	4,607,000	3,113,519
	修繕費	8,788,000	6,486,967
	印刷製本費	8,391,000	6,001,980
	燃料費	122,000	101,122
	光熱水費	39,632,000	42,556,982
	賃借料	12,188,000	10,044,989
	保険料	575,000	467,370
	諸謝金	6,586,000	7,131,863
	手数料	2,489,000	1,864,121
	租税公課	14,669,000	21,842,200
	負担金	2,770,000	2,795,000
	委託料	175,827,000	168,507,563
広告宣伝費	5,180,000	3,800,169	
雑費	1,000	68,500	
投資活動支出	退職手当引当預金支出	14,000,000	17,511,099
予備費		2,000,000	0
支出合計		418,323,000	415,453,993
収支差額		0	8,799,696